

ST1000参加者向け情報



2020/5/27

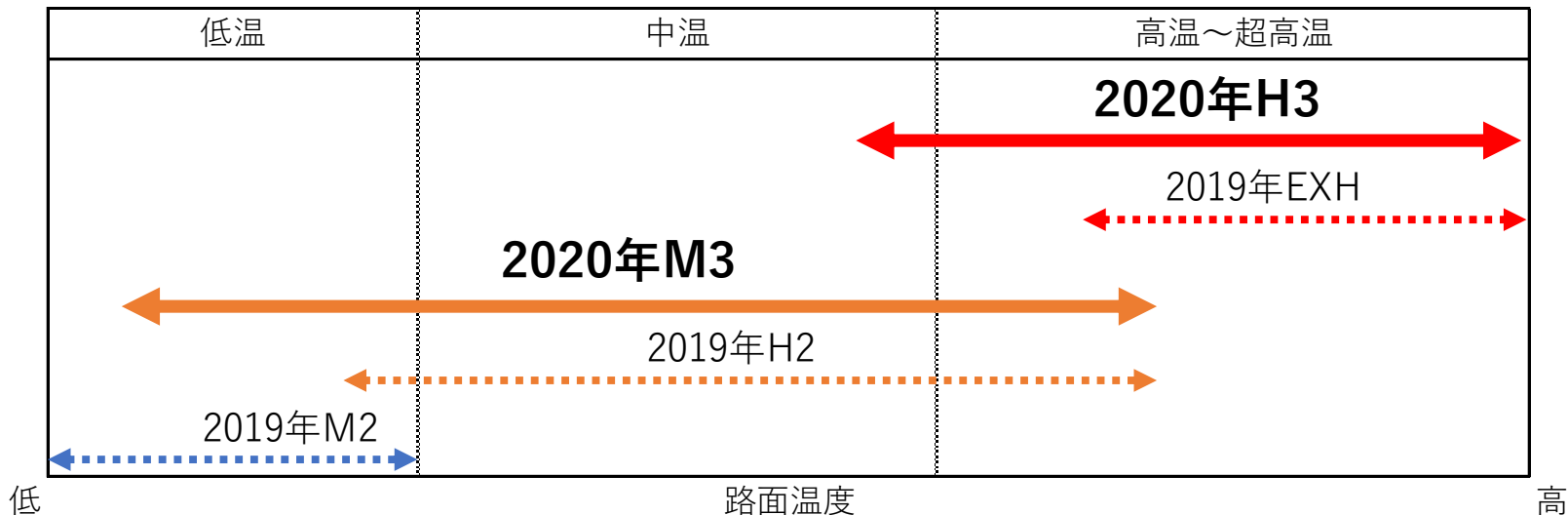
住友ゴム工業株式会社
モーターサイクルタイヤ部

1. タイヤ情報

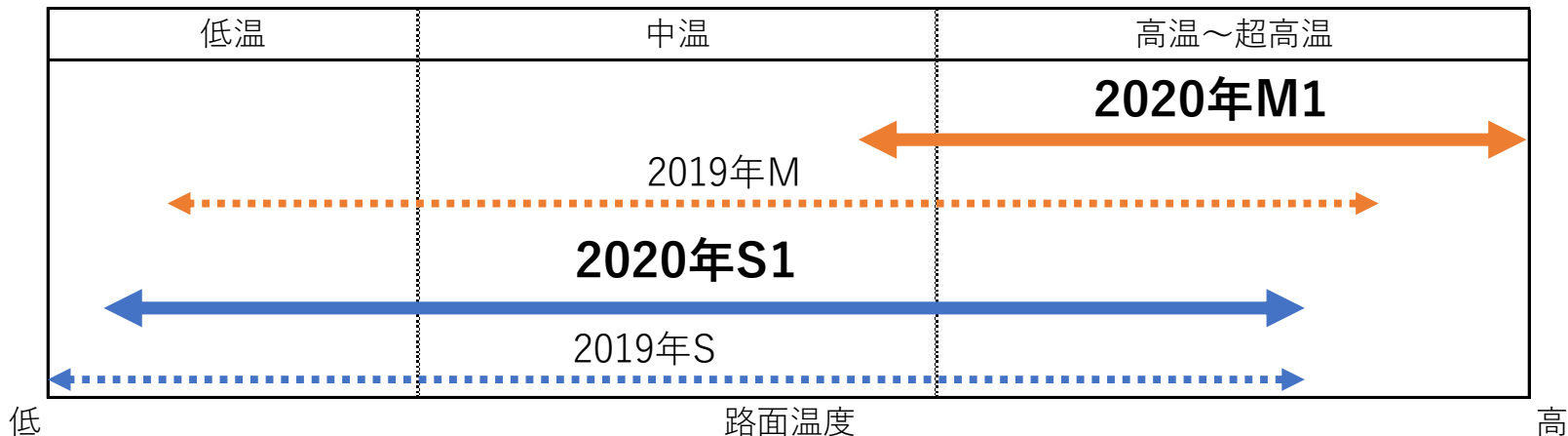
ST1000指定タイヤの温度レンジイメージ



フロント (120/70R17 KR149 M3 & H3)



リア (200/60R17 KR133 S1 & M1)



前後ともにハード側コンパウンド選択の大まかな目安は路面温度**40℃**となります。

走行中のタイヤ温度は天候、時間帯、風の有無、路面コンディション、

車両セッティング等により大きく変化しますのであくまでも目安としてお考えください。

2. タイヤ情報



	サイズ	パターン	コンパウンド	幅 (mm)	外径 (mm)	COLD (kPa)	ウォーマー (kPa)	RUNHOT (kPa)
SLICK	120/70R17	KR149	M3	120	606	180-220	230	220-250
			H3					
	200/60R17	KR133	S1	198	665	110-130	160	160-180
			M1					

○SLICKタイヤ内圧の管理方法

1.COLD内圧基準の場合

RUNHOT調整で感触の良い内圧を記録しておき、タイヤが冷えた時に計測した内圧がCOLDの基準内圧となります。

(外気温が低い時期はCOLD→RUNHOTの内圧の上り幅が大きい等、季節により変化するので細かくRUNHOTをチェックする事をお勧めします)

2.タイヤウォーマー(80℃/1時間)での内圧基準の場合

タイヤウォーマーの製品毎の商品特性の違い、ウォーマー使用時間、外気温、ホイールまで温まりきっているかどうか、等により同一条件にはなりません。

タイヤウォーマーでの内圧は走りだしの参考とし、RUNHOTで調整し感触の良い内圧を記録して下さい。

(季節によってはRUNHOTがウォーマー内圧より下がる場合がありますのでご注意ください。)

3. タイヤ情報



	サイズ	パターン	コンパウンド	幅 (mm)	外径 (mm)	COLD (kPa)	
						通常の雨	乾く方向
RAIN	120/70R17	KR189	WA	120	600	200	190
	190/60R17	KR405	WA	186	651	140	120

○RAINタイヤ内圧の管理方法

1.COLD内圧基準の場合

基本的にCOLD内圧で管理します。

ウェットコンディションでは雨量、路面状況が一定ではない為、目標とするRUNHOT内圧はありません。

2.タイヤウォーマーでの内圧基準の場合(参考値)

暖かい季節では80℃/15分又は45～60℃/30分でCold内圧+10～15kPaになります。

4. タイヤサービスからのお願い



安全で高品質なタイヤサービスを提供する為に下記内容のご協力お願い致します。

①フロントホイールに関してディスクブレーキが装着されたままの場合、純正ゴムバルブ部分に手が入りにくく、バルブコアの脱着が困難となります。

お手数ですが、L時型バルブに変更頂くか、左側ブレーキディスクを外してタイヤサービスへの持ち込みをお願いします。



②ホイールの取り間違い防止の為、前後ホイールバルブ付近にゼッケンNo.+チーム名 or ライダー名の記載をお願いします。

③タイヤ脱着作業に不要なカラー等は紛失や取り間違い防止の為ホイールから取り外してタイヤサービスに持ち込みをお願いします。



5. タイヤサービスからのお願い



タイヤラック



タイヤウォーマースタンド

複数のタイヤ運搬のお勧めはタイヤラックとなります。
タイヤ運搬に使用する道具にもゼッケン、チーム等が分かる様に表示をお願いします。

タイヤウォーマースタンドの場合、固定用ピンが紛失する恐れがあります。又、タイヤ取り外しに時間がかかる為、スムーズな受付が出来る様ご協力をお願い致します。